

+.....+

【ケアプロ通信vol.67】

5月度ニュース:2018年アサヒ飲料健康チャレンジ始まりました！

+.....+

いつも大変お世話になります。

九州南部や四国では梅雨入りをしたようです。

雨が続くと、お洗濯が大変・・・髪の毛がなかなかまとまらない・・・
など、ジメジメして不快に思う方も多いと思います。

ですが、自然を守り、生物の命を守る「梅雨」は、とても大切な季節です。

雨が降ったら、お気に入りの長靴が履ける
雨が降ったら、お花に水やりをしなくていいからラッキー
雨が降ったら、紫陽花がいつもよりキレイに見える

など、楽しそうなことを考えると、
梅雨の時期も楽しく乗り越えられるのではないのでしょうか。

ケアプロの現場に出ているスタッフは、
雨にもマケズ、風にもマケズ、
みなさまの健康のお手伝いをさせていただいております！

それでは、5月度のニュースをお届けいたします。

+.....I N D E X.....+

【1】代表 川添高志 慶應看護100周年記念式典に参加して

【2】 予防医療事業部

- 1)2018年アサヒ飲料健康チャレンジ始まりました！
- 2)新人教育進行中！

【3】 在宅医療事業部

- 1)皮膚排泄ケア認定看護師さんと症例検討会をしました！
- 2)足立東部病院での合同勉強会開催を開催しました！

+.....+

+……………代表 川添高志からのメッセージ……………+

ナイチンゲールの誕生日である5月12日は、看護の日。
その日に、慶應看護100周年記念式典が開催されました。



卒業生代表として講演させて頂き、
塾長や病院長、医学部長、三田会長らとも
懇親させていただきました。

「慶應義塾の目的」は、単に一所の学塾ではなく、
社会における気品の泉源、智徳の模範として、
全社会における先導者を目指すことです。



目的を定義し、そこをブラさず、
社会に対応してきた100年を振り返りました。

私やケアプロも、大切なことはブラさず、
社会に対応して、ケアプロ100周年を後世の人たちが、
迎えられるように礎を築いていきます。

+……………予防医療事業部長 鈴木沙由梨からのメッセージ……………+

1)2018年アサヒ飲料健康チャレンジ始まりました！

2017年には全国30回実施、3000人の方にご利用いただいたアサヒ飲料様との健康チェックイベントですが、
本年はさらに拡大し、200回の実施を目指しています！

4月は四国や東北で実施し、多くの方にご利用いただくことができました。

5月以降も全国で実施してきますので、お見かけの際はぜひお立ち寄りください。

アサヒ飲料が実施している「アサヒ健康チャレンジ」の取り組みについては以下をご覧ください。

<https://www.asahiinryo.co.jp/kenkochallenge/>



2)新人教育進行中！

現場では、教育スタッフに見守られながら、多くのスタッフが研修に入っています。
新人教育のファーストステップでは、

- ・現場でお客様に検査を提供できるか
- ・会社の基本となる、ミッションやビジョンなどが理解できているかを
を中心にチェックしていきます。

▼新人教育のファーストステップである「ジュニアチェック」の様子



新人教育では、いくつかのステップや現場ごとに先輩たちが丁寧な教育を心がけています。

また教育ステップについてもより良いものにすべくPDCAをチーム一丸となって取り組んでいます。

まだまだ、看護師や臨床検査技師などの有資格者や有資格者以外の方も採用しておりますので、興味がある方がいらっしゃいましたらぜひお問い合わせください。

<http://carepro.co.jp/recruit/onecoin/form/>

+……………在宅医療事業部長 金坂宇将からのメッセージ……………+

1) 皮膚排泄ケア認定看護師さんと症例検討会をしました！

皮膚・排泄ケアの認定看護師さんに来ていただき、
症例検討会を開催しました！

実際に見ている症例を振り返り、処置が妥当なのか、
また今後どうしていけばいいのかについて検討をしました。

専門家の意見を聞く事で、普段の看護を振り返る事が出来、
またその経験を明日から看護にさっそく活かせそうです！

日々、たくさんの実践があるからこそ、一つひとつの経験や
疑問を無駄にせず、明日の一步に繋げていく事が重要ですね！！



2) 足立東部病院での合同勉強会開催を開催しました！

足立東部病院の病院スタッフさん向けに、
在宅についての勉強会を開催しました！

足立ステーションから徒歩5分くらいのとても近い病院です。

参加者は看護師だけでなく、
セラピスト、看護助手、医師、相談員、栄養士と幅広く、
病院全体で在宅について興味を持っていただけているのを実感しました。

この活動は今年度を通して行っていく予定です。

少しでも在宅を身近に感じていただき、
一人でも多くの患者さんの退院支援に役立てばいいなと思っています。

これからの連携が楽しみです！

